

平成23年7月6日
中央訓練協議会

専門学校教育制度・平成22年度の設置学科の傾向について

全国専修学校各種学校総連合会
総務委員長 浦山哲郎

1. 1. 専門学校制度・全体規模の概要
 1. 1. (参考1) 専門学校の教育分野の概要
 1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等
1. 2. 専門学校卒業生の教育分野別・職業別の就職状況
1. 3. 専門学校卒業生の産業別の就職状況(大学, 短期大学, 高等専門学校, 高校との比較)
1. 4. 専門学校卒業者の就職率の推移(大学, 短期大学, 高等専門学校, 高校との比較)
2. 1. 専門学校の平成22年度の教育分野別の対前年度の動向
2. 2. 専門学校の平成22年度の学科別の対前年度の動向
2. 3. 専門学校の平成22年度の修業年限別の対前年度の動向

1. 1. 専門学校制度・全体規模の概要

■制度の概要

- 【創 設】専修学校制度は昭和51年1月11日
- 【目 的】職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る。(学校教育法第124条)
- 【課 程】専修学校には次の3種類の課程がある。
 - ・高等課程(中卒者対象):高等専修学校
 - ・**専門課程(高卒者対象):専門学校**
 - ・一般課程(学歴不問)
- 【基 準】
 - ・修業年限1年以上。
 - ・授業時数年間800時間以上(昼間)。
 - ・学生数常時40人以上。
 - ・教育分野8分野。

■称号「専門士」・大学編入学資格の付与

- 【要 件】
 - ・修業年限2年以上。
 - ・課程修了に必要な総授業時数1,700時間以上。
 - ・試験等による成績評価、評価に基づく課程修了の認定。
- 【指定状況】・2,951校/7,213学科(平成22年度)

■称号「高度専門士」・大学院入学資格の付与

- 【要 件】
 - ・修業年限4年以上。
 - ・課程修了に必要な総授業時数3,400時間以上。
 - ・体系的な教育課程の編成。
 - ・試験等による成績評価、評価に基づく課程修了の認定。
- 【指定状況】・322校/503学科(平成22年度)

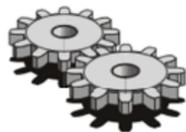
■専門学校の規模(引用:平成22年度文部科学省「学校基本調査」)

- 【進学率】 新規高等学校卒業者の進学率15.9%(大学進学率47.8%,短期大学進学率6.0%,就職率15.7%)
- 【分野別】 主な数値は下表のとおり。

	合 計	工 業	農 業	医 療	衛 生	教育・社会福祉	商 業 実 務	服飾・家政	文化・教養
学校数(校)	2,904	548 (18.9%)	63 (2.2%)	1,332 (45.9%)	585 (20.1%)	475 (16.4%)	631 (21.7%)	285 (9.8%)	714 (24.6%)
学科数(科)	8,488 (100%)	1,381 (16.3%)	109 (1.3%)	1,938 (22.8%)	823 (9.7%)	651 (7.7%)	1,188 (14.0%)	642 (7.6%)	1,756 (20.7%)
入学者数(人)	266,915 (100%)	36,203 (13.6%)	2,471 (0.9%)	69,634 (26.1%)	41,036 (15.4%)	20,430 (7.7%)	31,853 (11.9%)	8,519 (3.2%)	56,769 (21.3%)
学生数(人)	564,460 (100%)	75,570 (13.4%)	4,390 (0.8%)	194,439 (34.4%)	70,048 (12.4%)	38,101 (6.7%)	58,248 (10.3%)	17,420 (3.1%)	106,424 (18.0%)
卒業者数(人)	222,968 (100%)	32,375 (14.5%)	1,757 (0.8%)	58,644 (26.3%)	35,019 (15.7%)	14,860 (6.7%)	25,673 (11.5%)	7,347 (3.3%)	47,293 (21.2%)
就職者数(人)	166,584 (100%)	22,687 (13.6%)	1,379 (0.8%)	51,863 (31.1%)	29,922 (18.0%)	13,004 (7.8%)	18,152 (10.9%)	3,956 (2.4%)	25,621 (15.4%)
就職率(%)	74.7	70.1	78.5	88.4	85.4	87.5	70.7	53.8	54.2

(注) 学校数は複数分野を設置する学校があるため総数は合計と一致しない。

1. 1. (参考1) 専門学校の教育分野の概要



工業分野

コンピュータやマルチメディア等の IT 関連の最新テクノロジーに対応した人材や、建築、自動車整備、機械、電気等の生活と密接に結び付いた技術者を、実技演習を数多く取り入れた実践的なカリキュラムで育成している。

- 主な設置学科…情報処理、コンピュータグラフィックス、自動車整備、土木・建築、電気・電子、放送技術、無線・通信など



教育・社会福祉分野

介護福祉系では、人材不足のため、卒業生は社会福祉施設、老人介護施設、企業・地方公共団体等の専門職員として活躍している。保育・幼稚園教諭養成系は、女性の社会進出等の広がり、保育・幼児教育の多様化に伴い、需要の高い状態が続き、近年では男性の保育士志望者も増えている。

- 主な設置学科…保育、幼児教育、社会福祉、医療福祉、介護福祉、老人福祉、精神保健福祉など



農業分野

専修学校全体の中では少数派だが、これからの農業に欠かすことのできないバイオテクノロジー、食品の安全性等に関する研究、生活に潤いをもたらすガーデニングやフラワービジネス等、今後さらに成長が見込まれている。

- 主な設置学科…農業、園芸、畜産、造園、バイオテクノロジー、動物管理など



商業実務分野

オフィスワーク系の事務関連、貿易等の国際ビジネス、旅行・ホテル等のサービス関連の人材を育成している。各種の専門知識のほか、充実したパソコン・インターネット実習環境のもとでコンピュータスキル、ビジネスマナー等、総合的にビジネスを学ぶ。

- 主な設置学科…簿記・経理、旅行・観光・ホテル、会計、経営、医療秘書、流通ビジネス、OA ビジネス、福祉ビジネスなど



医療分野

高齢化社会の到来、医療技術の進歩に伴う予防、検査、リハビリ等の多様な展開の見られる中、看護や歯科衛生だけでなく、理学療法士・作業療法士や、はり・きゅう・あんま、マッサージ、指圧関係の学生数が増加している。

- 主な設置学科…看護、歯科衛生、歯科技工、臨床検査、診療放射線、理学・作業療法、はり・きゅう・あんまマッサージ指圧、柔道整復など



服飾・家政分野

ファッション業界の各部門で必要な知識と技術について教育している。就職先はデザイナーやパタンナー等の創作的な職種、アパレルマーチャンダイザーやファッションアドバイザー等の企画・販売・営業支援の職種に分かれる。

- 主な設置学科…ファッションデザイン、ファッションビジネス、アパレルマーチャンダイジング、スタイリスト、和洋裁、編物・手芸など



衛生分野

理容・美容系は、安定した人材ニーズを持つ均衡のとれた分野で、エステ・メイクアップ、ネイルアート等も含まれる。栄養・調理系は、健康面から食生活への関心の高まりから人材ニーズは堅調であり、また、近年は製菓や製パンの技術者にも注目が集まっている。

- 主な設置学科…栄養、調理師、製菓、製パン、理容、美容、エステなど



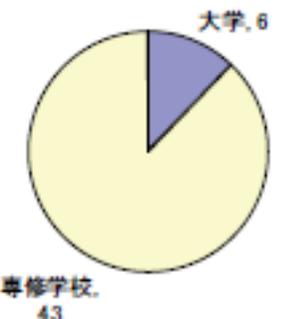
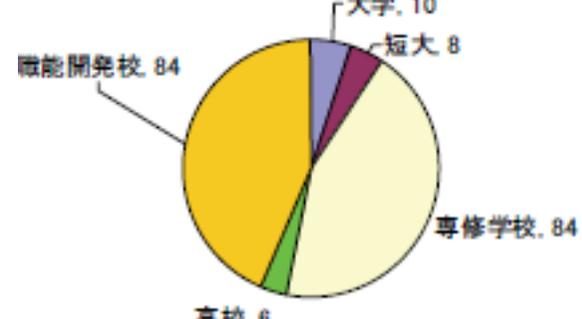
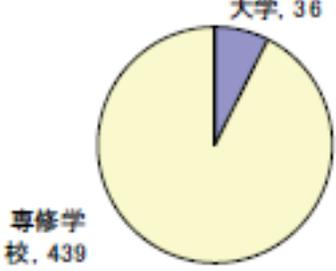
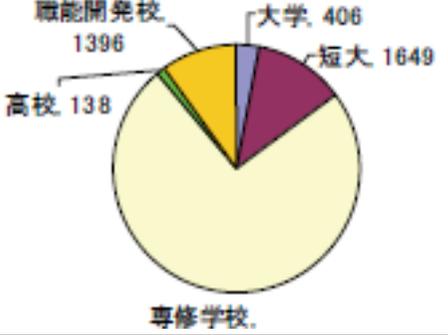
文化・教養分野

芸術系では、エンターテインメント(映画・演劇・音楽)、クリエイティブ(美術・デザイン・ゲーム制作)等、個性や芸術性を重視する教育を実施している。外国語系では、英語のほか韓国語や中国語等の関心の高い言語について、外国人教員による授業や海外研修等を積極的に導入している。

- 主な設置学科…デザイン、インテリアデザイン、音楽、外国語、演劇・映画、写真、通訳・ガイド、法律行政、スポーツなど

1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等 (1)

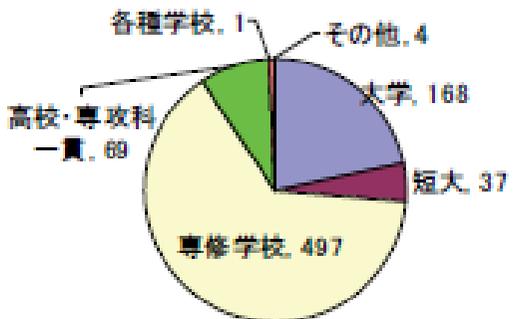
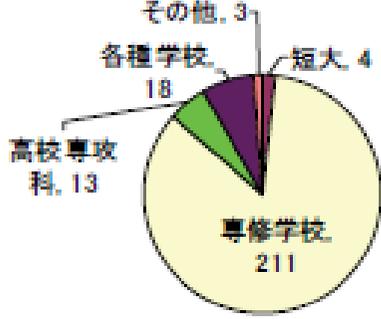
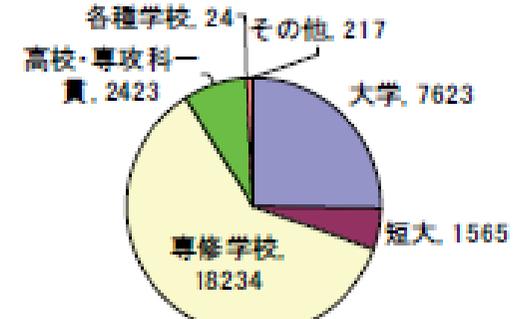
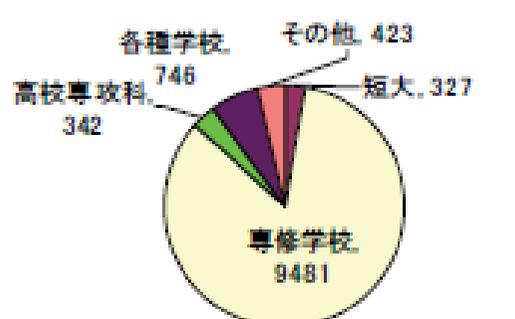
■工業系「自動車整備士」

	自動車整備士 (1級)	自動車整備士 (2級)
技術検定の受験資格の取得要件	○2級の技能検定に合格した者であって、1種養成施設の1級の課程を修了した者 等 (養成施設の課程を修了した者等については、学科試験又は実技試験の全部又は一部が免除)	○1種養成施設の2級の課程を修了した者 ○自動車に関する学科を有する大学であって国土交通大臣が定めるものにおいて当該学科の2級の課程を修めて卒業した者 等 (養成施設の課程を修了した者等については、学科試験又は実技試験の全部又は一部が免除)
養成施設の種類	大学, 専修学校	大学, 専修学校, 高校, 職能開発校, その他の養成施設
養成施設数	合計:49 施設 (1種養成施設) 	合計:193 施設 (1種養成施設及び国土交通大臣が定める学科を有する大学等) 
養成施設ごとの受験資格取得者数	平成19年度の受験資格取得者総数:475人 	平成19年度の受験資格取得者総数:13,798人 

(引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等 (2)

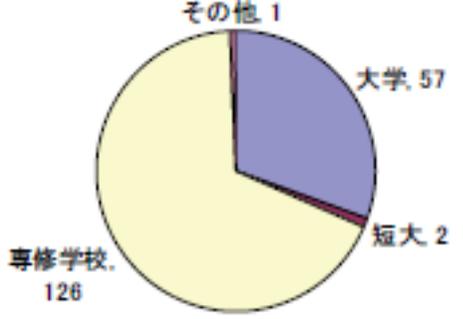
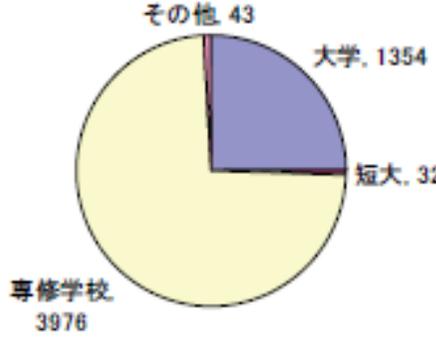
■医療系「看護師」

		看護師	
国家試験受験資格の取得要件 (外国の養成校を卒業した場合、外国で相当免許を受けた場合を除く)	○文部科学大臣の指定した学校において3年以上看護師になるために必要な学科を修めた者 ○厚生労働大臣の指定した看護師養成所を卒業した者 ○免許を得た後3年以上業務に従事している准看護師又は高等学校若しくは中等教育学校を卒業している准看護師であって、上記の学校又は養成所において2年以上修業した者		
養成施設の種類	(3年課程)…高校・専攻科一貫校教育(5年課程)含む 大学、短期大学、専修学校、高校・専攻科一貫教育校、各種学校、その他の養成施設	(2年課程) 短期大学、専修学校、高校専攻科、各種学校、その他の養成施設	
養成施設数	3年課程の養成施設合計: 776 施設 	2年課程の養成施設合計: 249 施設 	
養成施設ごとの就業者数	平成20年度に3年課程を卒業・就業した看護師総数:30,086人 	平成20年度に2年課程を卒業・就業した看護師総数:11,319人 	

(引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等 (3)

■医療 (リハビリ) 系

	理学療法士	作業療法士
国家試験受験資格の取得要件 (外国の養成校を卒業した場合、外国で相当免許を受けた場合を除く)	○大学の入学資格を有する者であって、文部科学大臣が指定学校又は厚生労働大臣が指定した理学療法士養成施設において、3年以上理学療法士として必要な知識及び技能を修得した者 ○作業療法士等で、文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した理学療法士養成施設で、2年以上理学療法に関する知識及び技能を修得した者	○大学の入学資格を有する者であって、文部科学大臣が指定学校又は厚生労働大臣が指定した作業療法士養成施設において、3年以上作業療法士として必要な知識及び技能を修得した者 ○理学療法士等で、文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した作業療法士養成施設で、2年以上理学療法に関する知識及び技能を修得した者
養成施設の種類	大学, 短期大学, 専修学校, その他の養成施設	大学, 短期大学, 専修学校, その他の養成施設
養成施設数	合計:239 施設 	合計:186 施設 
養成施設ごとの資格取得者数	平成 20 年の合格者総数 :8,291 人 	平成 20 年の合格者総数 :5,405 人 

(引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等 (4)

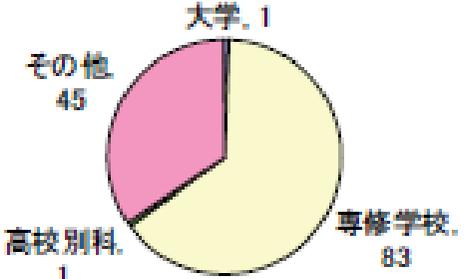
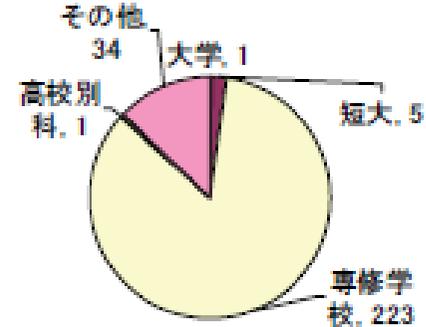
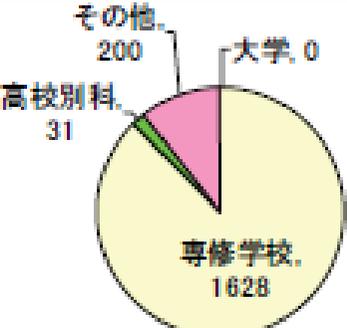
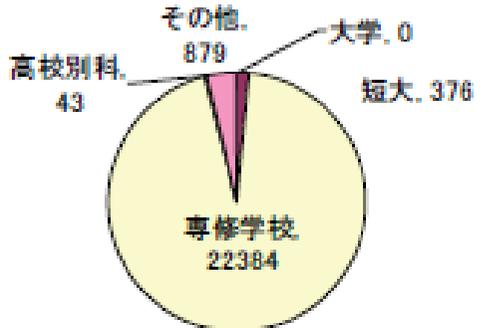
■衛生(栄養・調理)系

	栄養士	調理師
資格の取得要件	○厚生労働大臣の指定した養成施設において2年以上栄養士として必要な知識及び技能を修得した者	○厚生労働大臣の指定する調理師養成施設において、1年以上、調理、栄養及び衛生に関して調理師たるに必要な知識及び技能を修得した者 ○中学校を卒業した者等であって、多数人に対して飲食物を調理して供与する施設又は営業で厚生労働省令の定めるものにおいて2年以上調理の業務に従事した後、調理師試験に合格した者
養成施設の種類	大学、短期大学、専修学校	短期大学、専修学校、高校、その他の養成施設
養成施設数	合計:177 施設 	合計:271 施設
養成施設ごとの入学定員	平成 20 年度の 入学定員 :13,960 人 	平成 20 年の 入学定員 :30,957 人

(引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等 (5)

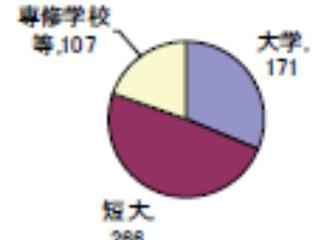
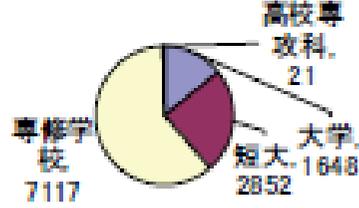
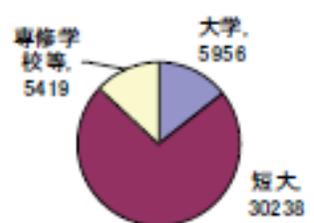
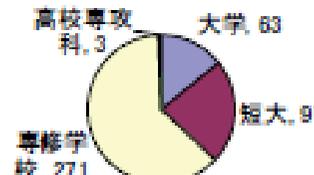
■衛生(理容・美容)系

	理容師	美容師
国家試験受験資格の取得要件	○高校を卒業した者等であって、理容師養成施設において2年以上(通信課程の場合は3年以上)理容師になるために必要な知識及び技能を修得した者	○高校を卒業した者等であって、美容師養成施設において2年以上(通信課程の場合は3年以上)美容師になるために必要な知識及び技能を修得した者
養成施設の種類の	大学, 専修学校, 高校別科, その他の養成施設	大学, 短期大学, 専修学校, 高校別科, その他の養成施設
養成施設数	合計:130 施設 	合計:246 施設 
養成施設ごとの資格取得者数	平成 20 年の資格取得者総数:1,859 人 	平成 20 年の資格取得者総数:23,682 人 

(引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

1. 1. (参考2) 専門学校で取得する主な資格と学校種別養成施設数等 (6)

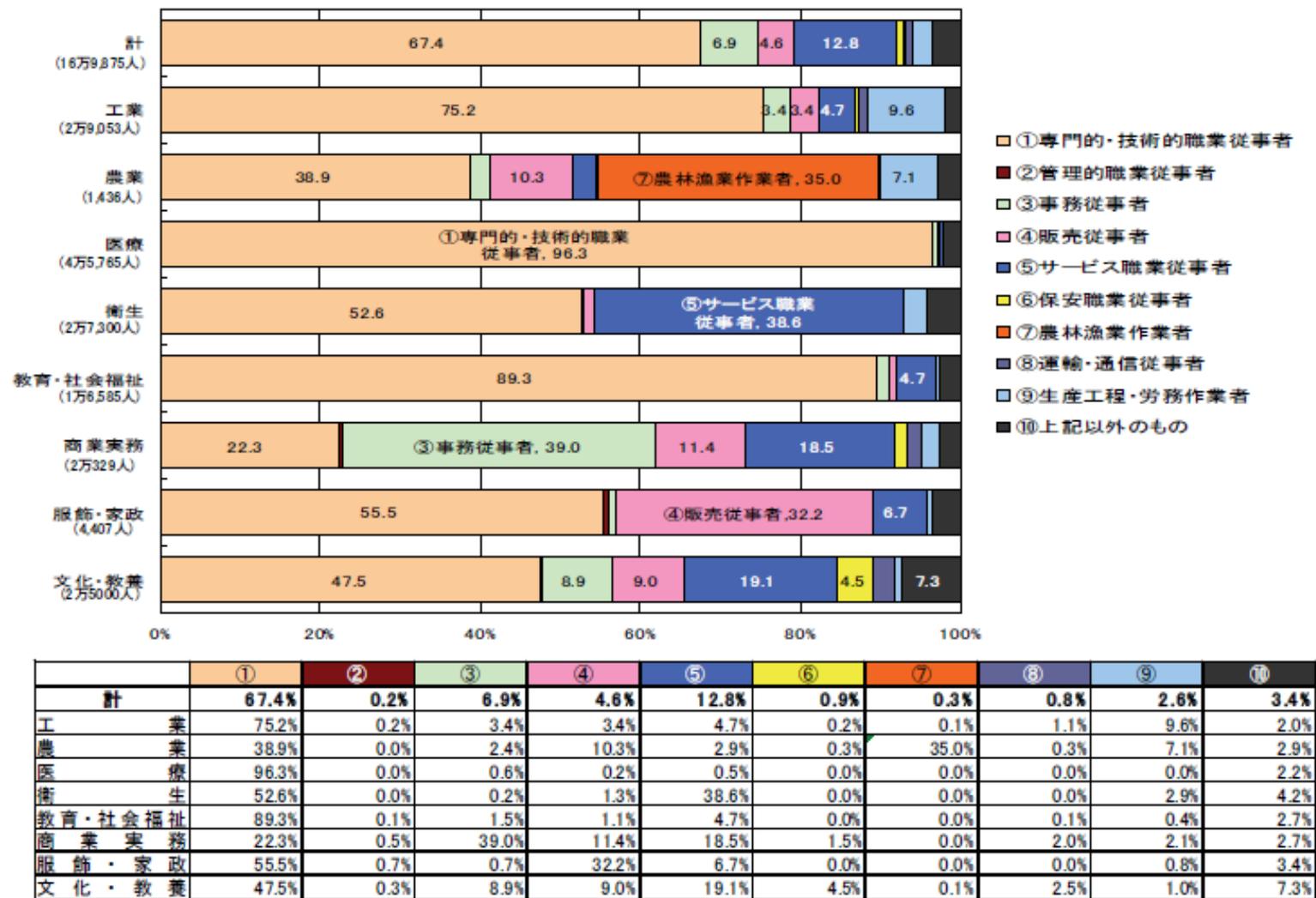
■教育・社会福祉(保育・福祉)系

	保育士	介護福祉士
資格の取得要件	<ul style="list-style-type: none"> ○厚生労働大臣の指定する保育士養成施設を卒業した者 ○保育士試験に合格した者 <p>(保育士試験の受験資格は、原則として次のいずれかに該当すること。①短期大学卒業又は同等以上、②高校卒業後に児童福祉施設での実務経験2年以上、中学卒業後に児童福祉施設での実務経験5年以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大学の入学資格を有する者であって、介護福祉士養成施設において2年以上介護福祉士として必要な知識及び技能を修得した者 ○大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者その他その者に準ずる者であって、介護福祉士養成施設において1年以上介護福祉士として必要な知識及び技能を修得した者 ○大学の入学資格を有する者であって、保育士養成施設又は社会福祉士養成施設等を卒業した後、介護福祉士養成施設において1年以上介護福祉士として必要な知識及び技能を修得した者 ○3年以上介護等の業務に従事し、介護福祉士試験に合格した者 ○高校等において厚生労働省令に定める所定の科目及び単位数を修めて卒業し、介護福祉士試験に合格した者
養成施設の種類の	大学、短期大学、専修学校、その他の養成施設	大学、短期大学、専修学校、高校専攻科、高校本科
養成施設数	合計:544 施設 	合計:434 施設 (高校本科を除く) 
養成施設ごとの資格取得者数等	平成19年度の資格取得者総数:41,613人 (参考)平成19年度の保育試験合格者数:7,750人 	平成20年度の入学者総数:11,638人 (参考)平成20年度介護福祉士試験における福祉系高校(専攻科含む)からの合格者数:4,778人 

(引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

1. 2. 専門学校卒業生の教育分野別・職業別の就職状況

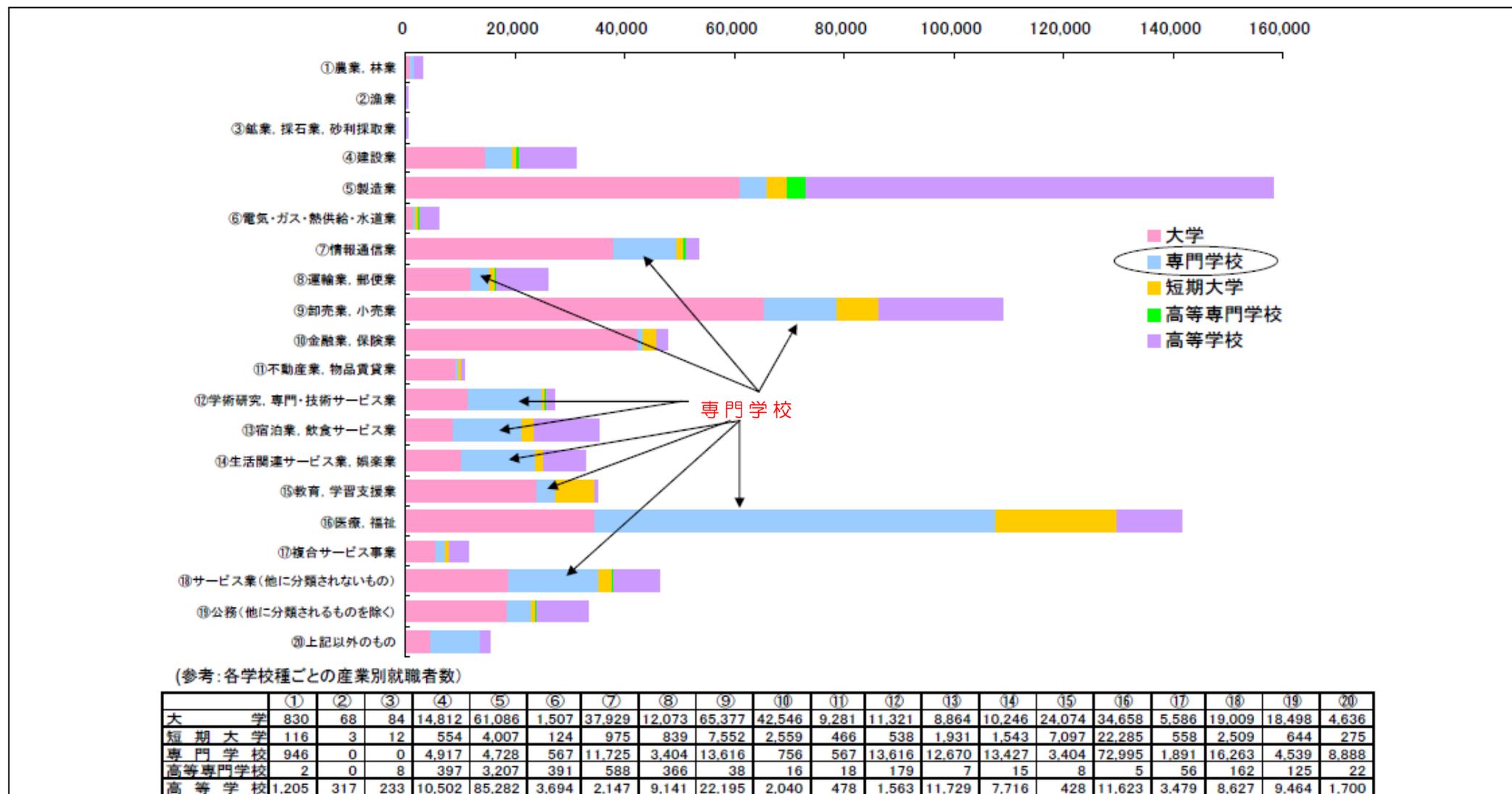
専門学校は、各分野の公的資格等に係る人材を養成することから、「専門的・技術的職業従事者」の割合が高い。



「引用：平成20年度文部科学省調査（専門学校（専門課程を設置する専修学校）の約75%からの回答）」

1. 3. 専門学校卒業生の産業別の就職状況（大学，短期大学，高等専門学校，高校との比較）

専門学校は、各分野の専門的・技術的な知識及び技術を修得した人材を、様々な産業界に輩出している。

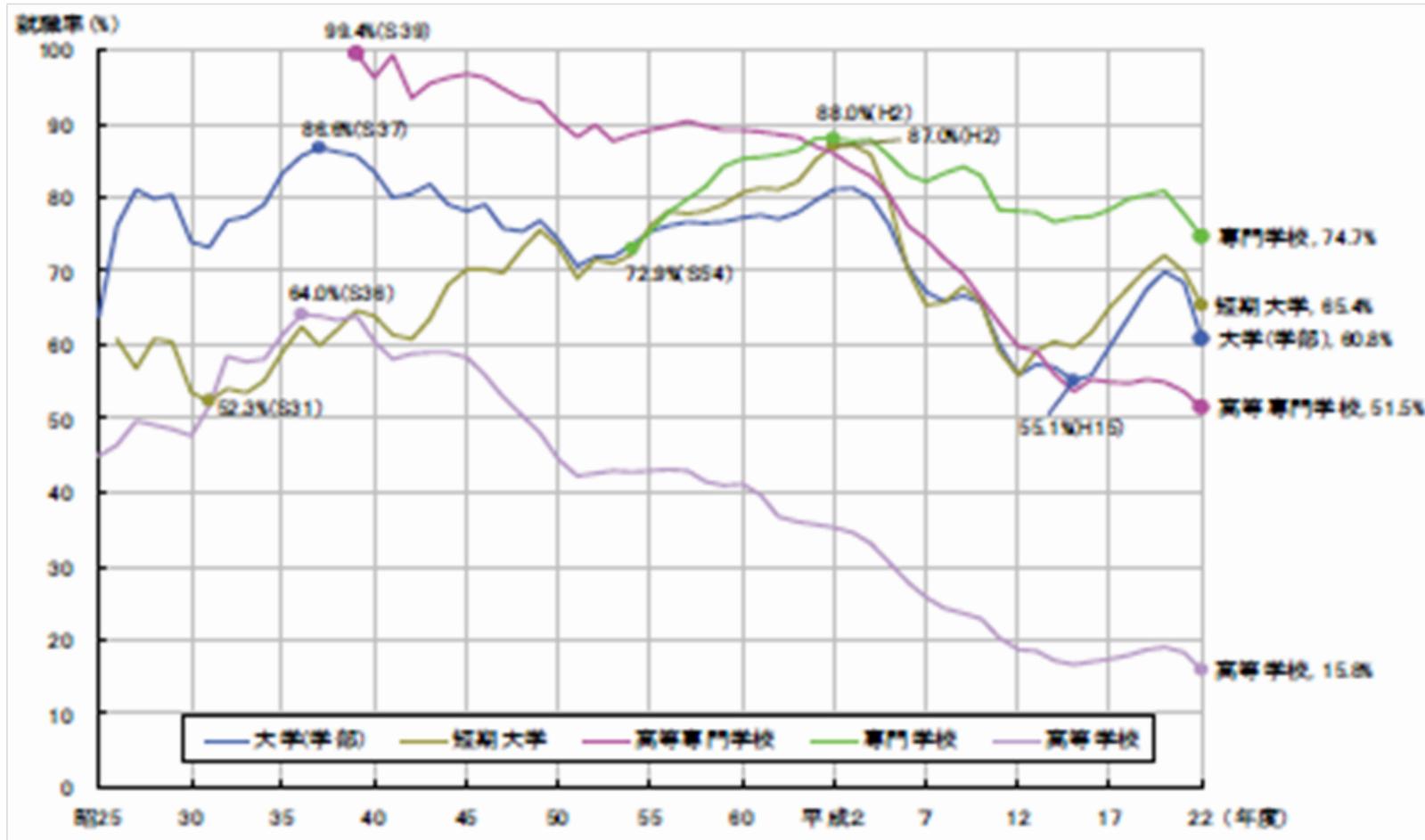


(引用: 文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」)

※文部科学省「学校基本調査」(平成21年度)(専門学校は文部科学省調査(前頁)による)

1. 4. 専門学校卒業者の就職率の推移（大学，短期大学，高等専門学校，高校との比較）

専門学校卒業者全体の就職率は、統計を取り始めて以来、7割を下回ったことはない。



（引用：文部科学省中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」）
 ※文部科学省「学校基本調査」（平成22年度） 注1）就職率は各学校段階卒業後すぐに就職した者の割合を示す。
 注2）就職者数には一時的な職に就いた者は含まない。

2. 1. 専門学校の平成22年度の教育分野別の対前年度の動向

専門学校の入学者数は、平成15年度(338千人)以降減少傾向にあったが、平成22年度は7年ぶりに増加。

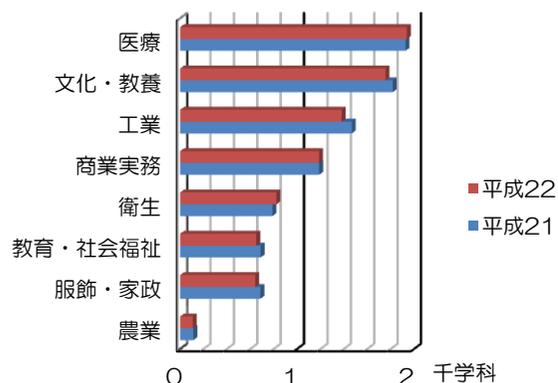
⇒学科数は、医療と衛生の2分野が増加、商業実務が横ばい。他の5分野は約3~7%の減少。

⇒入学者数は、服飾・家政を除く7分野が増加。教育・社会福祉、商業実務、衛生の3分野が10ポイント超増加。

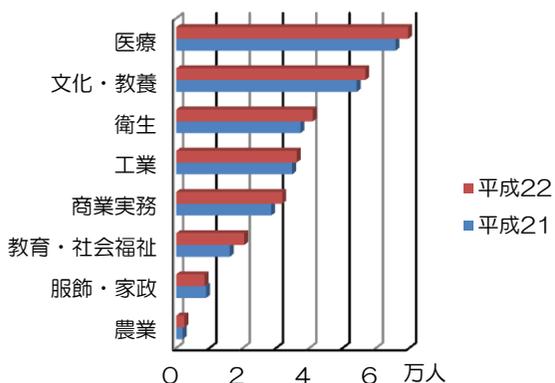
⇒学生数は、服飾・家政と工業を除く6分野で増加。教育・社会福祉が10ポイント超増加。

⇒1学科当たりの入学者数、1学科当たりの学生数とも、ほぼ全ての分野が横ばい又は増加。

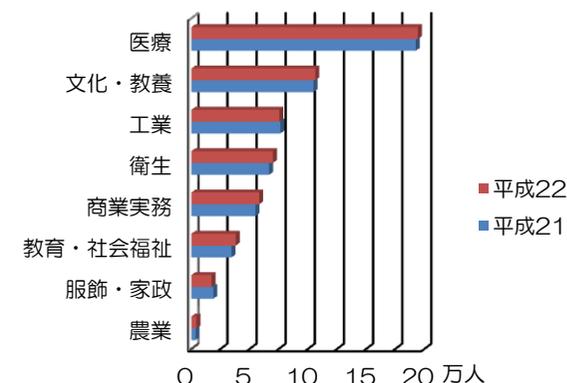
教育分野別学科数



教育分野別入学者数



教育分野別学生数



	工業	農業	商業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平22	1,381	109	1,938	823	651	1,188	642	1,756	
平21	1,468	114	1,927	789	689	1,189	687	1,818	
増減率	-5.9	-4.4	0.6	4.3	-5.5	-0.1	-6.6	-3.4	

	工業	農業	商業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平22	36,203	2,471	69,634	41,036	20,430	31,853	8,519	56,769	
平21	34,851	1,971	65,869	37,318	16,078	28,532	8,990	54,214	
増減率	3.9	25.4	5.7	10	27.1	11.6	-5.2	4.7	

	工業	農業	商業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平22	75,570	4,390	194,439	70,048	38,101	58,248	17,420	106,424	
平21	76,420	3,667	192,616	66,836	34,438	55,009	18,910	104,815	
増減率	-1.1	19.7	0.9	4.8	10.6	5.9	-7.9	1.5	

1学科当たりの平均入学者数

	工業	農業	商業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平22	26.2	22.7	35.9	49.9	31.4	26.8	13.3	32.3	
平21	23.7	17.3	34.2	47.3	23.3	24.0	13.1	29.8	

1学科当たりの平均学生数

	工業	農業	商業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平22	54.7	40.3	100.3	85.1	58.5	49.0	27.1	60.6	
平21	52.1	32.2	100.0	84.7	50.0	46.3	27.5	57.7	

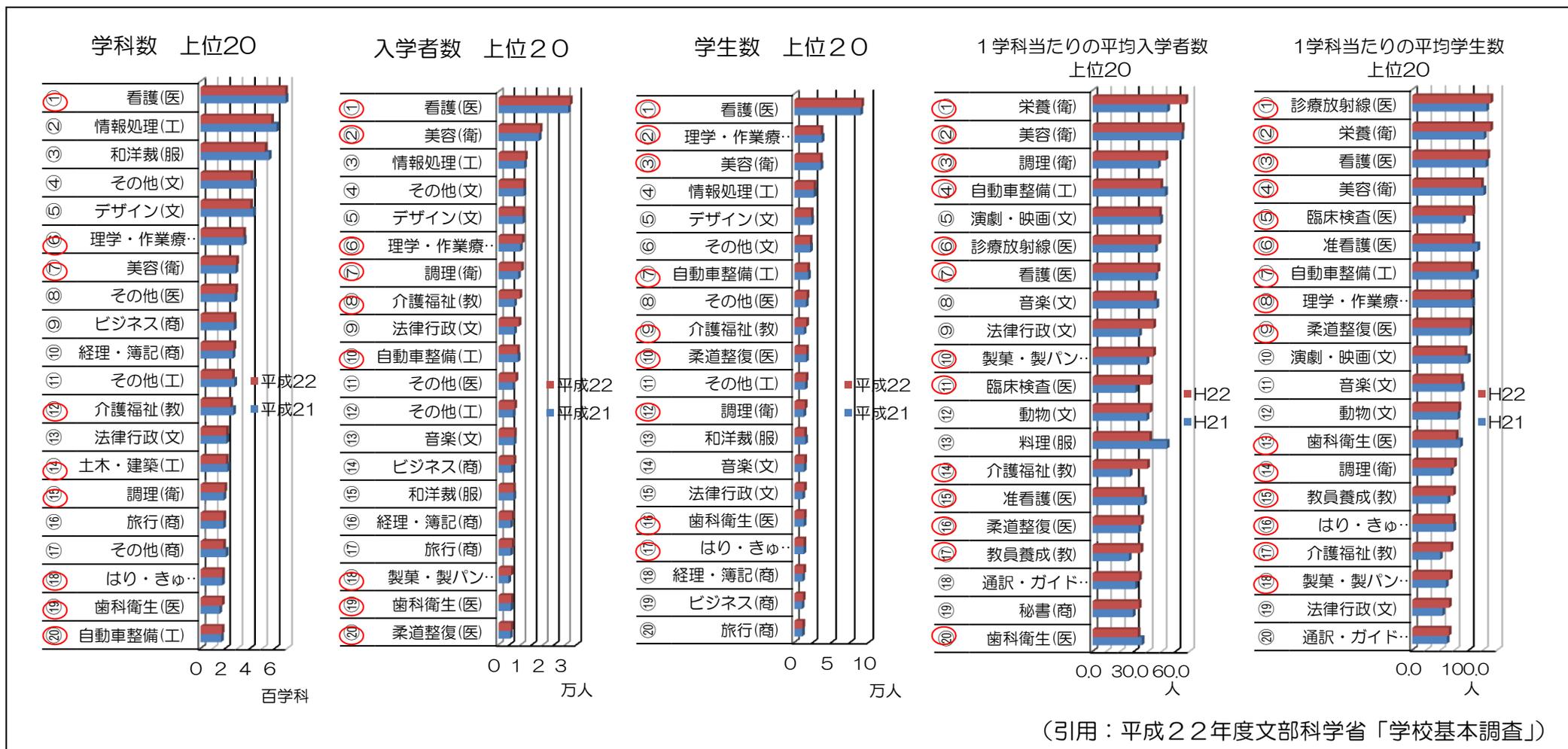
(引用：平成22年度文部科学省「学校基本調査」)

2. 2. 専門学校の平成22年度の学科別の対前年度の動向

学科数，入学者数，学生数とも看護がトップ。上位20のうち学科数・入学者数・学生数とも9つが養成施設系。

⇒上位20のうち「1学科当たりの平均入学者数」の13，「1学科当たりの平均学生数」の15が養成施設系。

⇒養成施設系以外では，演劇・映画や音楽等のエンターテイメント系，動物(トリマー等)や法律行政(公務員)が平均入学者数・学生数の上位20に入っている。



2. 3. 専門学校の平成22年度の修業年限別の対前年度の動向

学科数, 学生数とも「2年以上3年未満」が最多だが, 学科数は減少。

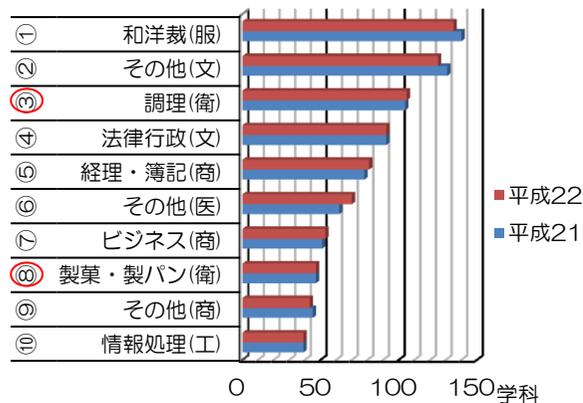
学生数は「1年以上2年未満」が約10ポイント増加。

「1年以上2年未満」は短期の養成施設系のほか, 多様な学科が増加。

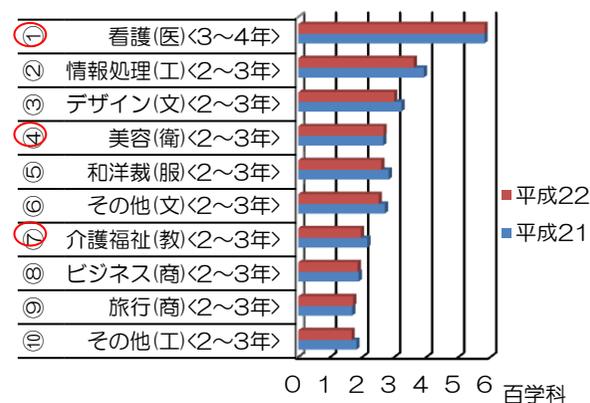
修業年限が長い学科に養成施設系が多いが, 高度な専門性が必要な学科も増加。

		1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上
学科数	H22	1,199	4,611	2,079	599
	H21	1,200	4,829	2,059	593
	増減率	-0.1	-4.5	1.0	1.0
学生数	H22	32,849	293,847	187,974	49,970
	H21	30,030	291,390	182,438	48,853
	増減率	9.4	0.8	3.0	2.3

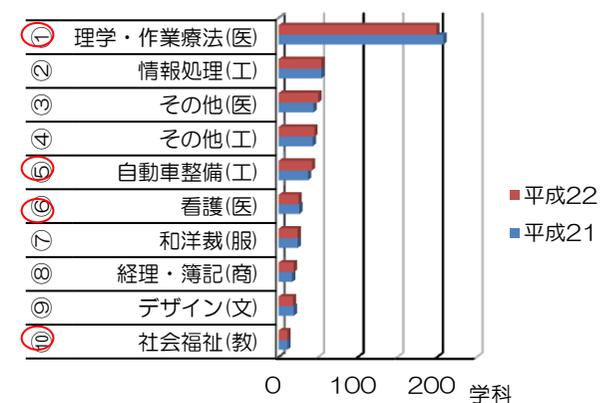
年限1年以上2年未満 学科数(上位10)



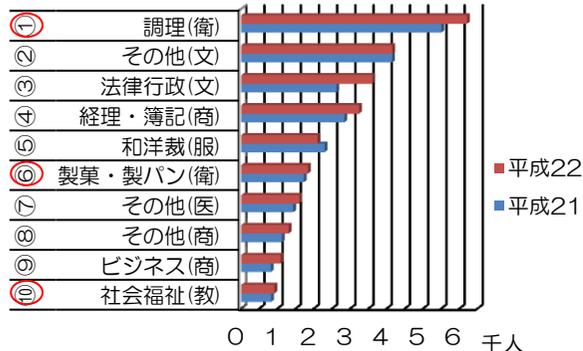
年限2年以上4年未満 学科数(上位10)



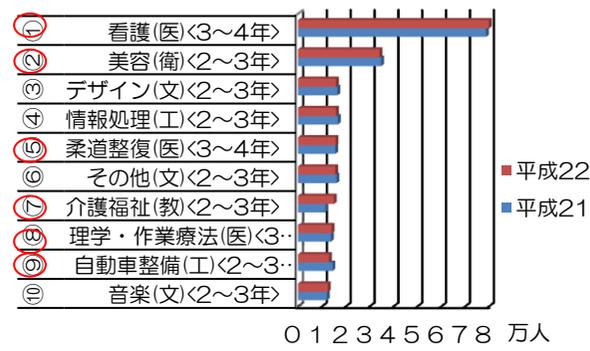
年限4年以上 学科数(上位10)



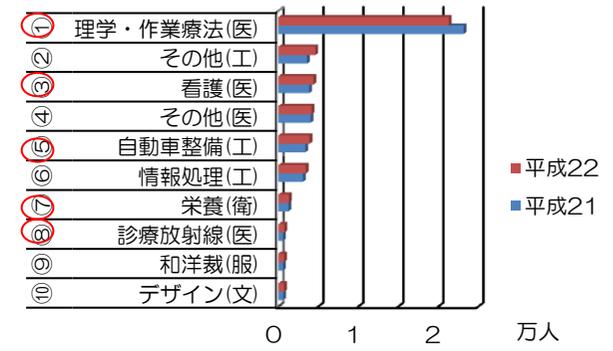
年限1年以上2年未満 学生数(上位10)



年限2年以上4年未満 学生数(上位10)



年限4年以上 学生数(上位10)



(引用：平成22年度文部科学省「学校基本調査」)